



【PROFILE】

- 1985年 新潟大学工学部卒業
- 1991年 (株)パステルラボ設立
- 1999年 東京麻布オフィス開設
- 2004年 名古屋オフィス開設
- 好きな言葉 志

会社DATA

【設立】 1991年4月

【資本金】 1000万円

【従業員数】 31名

【売上高】 3億4000万円
(2005年8月期)

【所在地】 石川県金沢市西都1-54

【事業内容】 地域に関する調査／人材育成の総合企画・実施、セミナー・研修等の企画・実施・運営／イベントの企画・運営／商業施設の総合企画／ヒューマンネットワークのコーディネート

コミュニケーションをより豊かに。 多様化するニーズや手段にスピー ディに対応した幅広い事業を展開。

◆「コミュニケーションをテーマに さまざまな事業を展開」

事業を立ち上げたのは、前職の映像制作という仕事を通して、人に何かを伝えるには、その根幹に関わらなければならないと感じたからです。そして、会社や人の深い所にまで関わった仕事をしたいと思うようになりました。

当社を一言で説明すると、コミュニケーションをテーマにして、いる企画会社です。例えば、地域の方とコミュニケーションを図れるような会社のショールームを作るとしましょう。完成したらオンラインイベントを開催、そこで働くスタッフの制服を製作、と仕

事がどんどん広がり、社員研修や教育にまでも発展していきます。そう考えると、私たちの仕事には、決められた終着点がないといえます。だからきつと仕事が面白いし、さまざまなことに挑戦したくなるのだと思います。

◆「卓越したコミュニケーション 能力の発揮」が社内の合い言葉

携帯電話をはじめ、メール、ブログなど、コミュニケーションの手段が多様化しています。最近、用件の重大性や内容に関わらず、メールや電話で済ませようとする、コミュニケーションの手段を上手に選ばない人が増えている気がします。例えば、仕

◆活躍の場がどんどん広が ユニバーサルな取り組みも実践

事で何らかのトラブルが生じて謝罪が必要になった時。どんなに丁寧な内容のメールを送るより、すぐに足を運び、直接会って謝罪するのがベスト。もし、会っていただけない時は、手紙を書いて気持ちを伝えるという方法もあります。また、社内で起こる可能性はあります。「これを話すと叱られそうだ」と思ったことをその場で話さず、上司が帰ってからメールし、翌朝読ませる、というようなケースも増えている気がします。

コミュニケーションには、相手の立場を考慮し、的確な方法を選ぶことが大切。社内では、「卓越したコミュニケーション能力を有し、それを発揮しよう」ということを目標に掲げています。コミュニケーションサポートを事業とする我々こそ、そうありたいと考えています。

ビジネスにおいても、生活においても、コミュニケーションをより豊かに、と誰もが考えるようになりました。自分から用事がある時にだけではなく「誰が自分に用事があるだろうか」を想定し、その相手に対して先にアクションを起こすようにしたいですね。

◆ユニバーサルな取り組みも実践

当社は「ユニバーサルコミュニケーション」という考え方に基づき、老若男女、障害者、健常者を問わず、さまざまな立場の人が生活しやすい環境やシステムを作るためのコミュニケーションサポートに取り組んでいます。発想の原点は、2003年の電動車いすサッカースポーツ大会で、携帯テレビ電話によるインターネットモバイル中継（モバチュウ）が大きな成果を上げたこと。これによって、会場に足を運べない選手や家族と、試合会場にいる選手とのリアルタイムなやりとりが可能になりました。

翌年から公式中継という形で行われ、2006年には、電動車いすバスケット大会でも採用されています。ツールの発達によって、現在では、実際の試合のスピードにも十分に対応できるようになりました。将来的には、ボールのスピードが格段と速いテニスにも取り組んでみたいですね。また、養護学校の入学式や運動会、修学旅行など年間行事のモバイル中継を行い、外出が困難な生徒もさまざまな行事に携帯電話を通して参加できるようにしました。

今後は、企業のCSR（社会貢献）活動をバックアップする事業にも力を入れたいですね。これまでの経験で得られたノウハウを応用し、社会と企業とのコミュニケーション活動でCSRという視点でお手伝いできたら、と思います。

◆会社をどんどん活用し やりたいことを実現してほしい

会社の基盤を固めるには、やはり人材が大切。「元気でよく笑う人」がいいですね。自分のやりたいことに取り組んでいる人や、やりたいことを探している人は元気だからよく笑う。エネルギーが感じられ、仲間とエネルギーを与えてくれるような人と一緒に仕事をしたいと思っています。

新入社員には、まず「挨拶を明るくしつかり」と。実際、きちんと出来る人が少ないんです。また、スタッフには「会社はやりたいことを実現する場所。それを実現するために会社をどんどん活用してください。手伝ってくれる仲間がいるし、あなたも仲間へのお手伝いをお願いします」と話しています。当社に興味のある方とは、いつでもお会いしたいですね。